

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	洲本市教育委員会	代表者名	石橋 治文		
担当者部署	学校教育課	連絡先電話番号	0799-22-6266		
担当者役職	課長	担当者氏名	美濃 正明	連絡先E-mail	*****
住所	656-8686 兵庫県洲本市本町3丁目4-10				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	中川 斉史
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	最近の情報化の情報化と具体的実践例を話してくださったこと。普段の実践の取組を積み上げていっていること。そして何よりそれが子供たちの力に結びついていること。
アドバイザーへの要望事項	さらに、より具体的な話を次回伺いたいと思います。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年8月22日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			13時50分	16時30分	10
			活動時間（分）	150	
3-2. 派遣場所	会場名	洲本市教育センター	最寄駅	淡路中央インターチェンジ	
	所在地	兵庫県洲本市中川原町中川原222-2	最寄駅からの交通手段	なし	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	教職員	30人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	本市は情報端末の活用頻度はとても高い。それを子供のつきたい力にどう結びつけていくか授業設計が重要であった。それに対する解決の方法が見つかったことは非常に大きかった。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	各校で具体的な取組に期待したい。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	①生成型AI時代の情報活用能力②GIGA時代の情報活用能力カリマネ③授業実践の紹介④校内研修とツール⑤授業改善について⑥家庭での利用の実際⑦環境の大切さ⑧振り返りの扱い	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	①GIGA時代の情報活用能力カリマネ②校内研修とツール③授業改善について④家庭での利用の実際	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	①生成型AI時代の情報活用能力②環境	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事後アンケートを実施した結果大部分が大変有益な研修であったとの回答であった。情報活用能力のカリキュラムを作成していく必要があるという意見が多かった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	全ての教職員が教師が教えるから子供が学びとる授業への授業を目指している。それに向けて大きな指針となった。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



